

令和元年度 米原市政策形成入門研修要領

1 目 的

市職員と聖泉大学学生で構成するプロジェクトチームが、政策形成のための基礎知識や手法、プロセスなどを体感しながら学ぶことで、課題解決のための「政策」を意識する契機とするとともに問題解決能力およびコミュニケーション能力の向上ならびにチームワークの涵養を図ることを目的とする。

2 日時・場所・内容

日時・場所	場所	内容
10月2日(水) 15:40~17:10	げんきステーション	①オリエンテーション、米原の魅力・課題を検討(グループワーク)。 【事前課題】大学生は米原について調べてくる(特徴、魅力と課題) 【宿題】 ・伊吹高校、米原高校について調べる ・高校生に聞きたいことを考えてくる
10月16日(水) 15:40~17:10	米原庁舎2B会議室または食堂	②インタビュー調査、グループワークの仕方について学ぶ。出前授業の準備(質問項目・グループワークの進め方などを検討) 【宿題】 インタビューガイドの作成(質問項目などを記載)
11月6日(水) 14:25~15:55	伊吹高校 対象:1年生全員(仮)	③出前授業 高校生にインタビュー調査(グループワーク) その1 テーマ:米原市について(イメージ、魅力と課題) 14:25~15:15 (6限 LHR) インタビュー調査(グループワーク) 対象:1年生全員(4クラス)(仮) 15:15~15:55 振り返りと次回の準備 【宿題】 インタビューガイドの加筆修正
11月20日(水) 14:25~15:55	伊吹高校 対象:1年4組	④出前授業 高校生にインタビュー調査(グループワーク) その2 テーマ:米原市をより良くするためにはどうすればよいか。 14:25~15:15 (6限 LHR) インタビュー調査(グループワーク) 対象:1年4組 15:15~15:55 振り返りと次回の準備 【宿題】 高校生の意見をまとめる
12月4日(水) 15:40~17:10	げんきステーション	⑤高校生の意見を参考に公約を検討、出前授業の準備
12月11日(水) 8:55~9:45 9:55~11:45	伊吹高校 対象:1年生全員	⑥出前授業 模擬投票を通して米原市を知り、市の未来を提案
14:00~15:00	米原庁舎／げんきステーション	⑦振り返り

※日程・場所については現在の予定であり、都合により変更する場合があります。

※○囲み数字は、学生に対する大学の講義数

3 実施体制について

政策形成入門研修は、PBL※型授業として聖泉大学の後期授業の一環として実施することとします。聖泉大学 人間学部 富川 拓准教授が講師として統監します。

聖泉大学の学生と協力して2班のプロジェクトチームに分かれて課題の解決を図るための政策、施策や事業の立案および事業の実施を行います。

※PBL (Problem-Based Learning)

PBL とは、少人数グループによる問題発見解決型の学習方法であり、プロセスとしてグループ討議、活動記録の作成、自己学習、成果報告までを含む統合的、総合的な学習に主眼を置いている実戦形式の学習法です。

4 政策課題

「若者の地域定着について」

本研修は、平成 27 年度から聖泉大学との連携協力協定に基づき実施しています。

平成 27 年度、28 年度は、公職選挙法の改正により 18 歳以上の有権者が投票可能となる一方、政治離れなどを起因とする若者の投票率低下の問題を課題として「若者の投票率向上について」をテーマに、研修を実施してきました。

平成 29 年度からこれらの取り組みを「米原未来プロジェクト」とし、伊吹高校の生徒も加わりました。若者が政治に関心を持ち、自分たちが住みたい魅力あるまちにするために、どのような政策をしたいかを自分自身が考え、最終的にどの提案内容が良かったかの模擬投票を行います。

5 対象職員

職名等	所属	氏 名	ふりがな	性別	グループ
				男	A
				男	A
				女	A
				男	A
				男	A
				女	A
				男	B
				男	B
				男	B
				女	B
				男	B
				女	B
				女	B

6 対象学生

・ 聖泉大学学生